

三重県入札等監視委員会 審議概要（令和元年度 第3回）

開催日及び場所	令和元年11月29日(金) 14:00～16:00 JA三重健保会館 3階 大研修室	
出席委員	委員長 木本 凱夫 副委員長 長谷部 拓哉 委員 堤 大三 委員 山田 梨津子 委員 山崎 美幸 委員5名中5名出席	
審議対象期間	令和元年7月1日から令和元年9月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
一般競争入札	5件	
指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 令和元年度 第3回定例会（令和元年11月29日）	
意見・質問	回答
入札・契約事案の審議について	
工事名 ①一級河川鍋田川（鍋田川上流排水機場）延命化対策（機械設備）工事〔桑名建設事務所〕	
<p>入札参加者が少なかった理由として、既存除塵機の更新工事であることが考えられるということだが、除塵機の更新工事だから少なかったのか、それとも一般的に更新工事だから少なかったのか。</p> <p>施工箇所が木曾岬ということで愛知県に近いが、愛知県の業者も参加できたのか。</p>	<p>どちらかという後者であると考えられる。機械設備工事は参加者が少ない傾向があり、更新工事になると、稼働しながら他の機械と調整し施工する必要があるため、施工可能業者は限られ、参加者は少なくなると考えられる。</p> <p>参加できた。ただ、総合評価項目の地域精通度の中で、三重県内に本店がある業者をより高く評価している。</p>
工事名 ②一般県道亀山停車場石水溪線（池の側橋）耐震対策工事（その2）〔鈴鹿建設事務所〕	
<p>今回の案件と、過去にあった同種工事の案件をみると参加資格要件に違いがあるがそれはなぜか。</p> <p>予定価格について、どの工事を事前公表にするか、事後公表にするかは各発注機関が決定しているのか。</p>	<p>三重県が定める「発注方法の取扱いについて」をもとに参加要件を設定しており、予定価格の違いによって参加者の選定エリアが違ってくる。</p> <p>そうである。</p>
工事名 ③一般県道長島港古里線 道路改良工事〔尾鷲建設事務所〕	
<p>過年度工事において同じ業者が落札しているが考えられる理由は何か。</p> <p>総合評価の評価項目にある「地域密着型貢献活動実績」は、尾鷲建設事務所独自の評価項目か。</p> <p>「地域密着型貢献活動実績」は具体的にはどのような形で評価をするのか。</p>	<p>施工箇所が港に隣接しているため、漁業関係者、地元の状況、関係者の状況等をしっかり把握しており、総合評価の技術提案として、非常に具体的で適合性が高かったことが考えられる。</p> <p>そうである。</p> <p>例えば、道路であれば、除草作業計画書を提出いただき、写真付きの結果報告書で作業人数と作業時間を確認する。基準として30時間以上活動をしたことを評価する。対象作業内容を細かく指定しているわけではなく、作業対象を公共土木施設としている。</p>

入札等監視委員会 令和元年度 第3回定例会（令和元年11月29日）	
意見・質問	回答
工事名 ④木曾川水管橋架替工事(右岸)〔北勢水道事務所〕 ⑤木曾川水管橋架替工事(左岸)〔北勢水道事務所〕	
入札参加資格の地域要件の設定をせず今回の参加者数は5者となった。参加者がいなくなることは考えているのか。 総合評価項目の社会貢献度の配点がない参加者も見受けられるが、これはよくあることなのか。	専門性や技術力がある業者に参加して欲しいということもあり、企業要件等設定している。ただ、今後は参加状況を見ながら考えていきたい。 珍しいことではない。ここで点差が開くこともある。
その他	
・次回、令和元年度第4回入札等監視委員会の開催日は、令和2年2月28日(金)の予定とする。	